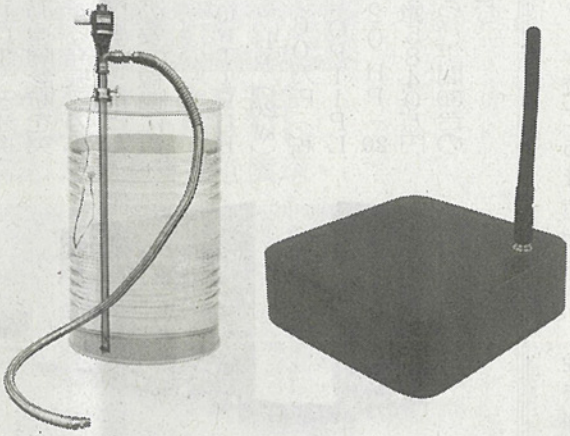
アクアシステム

液体管理の新2機種発売

耐薬品性ポンプ、遠隔モニタリングなど



㊧ケミカルドラムポンプSUS316
㊨レザー式液面計用中継器

アクアシステム（滋賀県彦根市、0749・23・9123）はこのほど、耐薬品性や作業効率を兼ね備えた「ケミカルドラムポンプSUS316」と、液体残量の遠隔監視を可能にする「レーザー式液面計用中継器」を発売し、液体管理におけるユーザーの課題解決を訴求する。

ケミカルドラムポンプは対応が難しかった酸性やアルカリ性など腐食性液体に対し耐食性の高いSUS316を採用。酸・アルカリを含む幅広い液体（クエン、酢酸アルミニウム、次亜塩酸カルシウムなど）に対応し、薬品の小分けや移送に最適。駆動方式は圧縮エア／100V／230Vの3種にホースの有無の6型式を用意し、液体管理の信頼性と生産性向上に貢献。

レーザー式液面計用中継器（型式：GDE-R）は1台で通信距離を最大50m延長することが可能。ドラム缶の容器に取り付けた液面計（子機）とPC（親機）の間を電波中継する機能を持ち、液面計から送信された液面データを安定的にPC（親機）へ送信することで、液体在庫確認の手間を大幅に軽減。中継器は最大300m（中継器5台設置時）の拠点間モニタリングを実現し、より広範囲なモニタリング環境を構築できる。

同社の遠隔モニタリングシステムはPCで最大15台の液面計を一括モニタリングでき、液体残量は％・L・㎜で専用アプリ上に表示・記録でき、液量推移のグラフやCSVデータ保存にも対応。使用可能な液体はオイル、灯油、軽油、水、廃液、切削液、アドブルーなど（仕様温度0～60度、粘度3000cPまで）。